

令和7年度 教育計画						学校番号 227	
伊方町立三崎中学校							
校長名	浅野 長武	学級数	4 (1)	生徒数	23	教職員数	10

【 教 育 目 標 】

個性のはっきりした教養ある国際的日本人の育成

【 校 訓 】

正しく やさしく よくはたらく
個性のはっきりした教養ある国際的日本人になろう

【 目 指 す 生 徒 像 】

『正しく』
礼儀正しく、公正な判断
ができる生徒

『やさしく』
自分を大切にし、他を思い
やることができる生徒

『よくはたらく』
進んで一生懸命に取り組
むことができる生徒

【 重 点 事 項 】

今日が楽しく、明日が待ち遠しい「みんなの学校」

～5カン（感動・感謝・感性・関係・関心）を大事にしたオンリーワンの学校～

【確かな学力】

- ① 基礎・基本の定着
- ② 好奇心・表現力
- ③ 個別最適化・学び合い

【豊かな心】

- ① 当事者意識
- ② ふるさと教育
- ③ 多様性

【健やかな体】

- ① 協働活動
- ② JRC 活動・生徒会活動・奉仕活動
- ③ 部活動、体力づくり

みんなの学校

子ども：楽しい
保護者：信頼できる
地 域：大切にしたい
教職員：働きがい

子ども
(主体性)

家 庭

基本的生活習慣・
心の安らぎ

地 域

ふるさと愛いっぱい
の人が育つ

重点目標	I ふるさとを愛し、未来を切り拓く子どもの育成 1 ふるさと学習の推進 2 地域学校協働本部と連携した家庭や地域人材の積極的な活用と地域行事への参加 3 感動体験や協働活動の工夫によるキャリア教育の推進 4 誰一人置き去りにしないインクルーシブ教育の充実 5 多様性を認め、いじめや偏見・差別を許さない態度の育成 6 自他の生命尊重や感染症等の予防、危険予知能力の育成 II 創造・自律・対話を大切にした学びの羅針盤づくり 1 「対立やジレンマに対処する力」「責任ある行動をとる力」「新たな価値を創造する力」の育成 2 対話や問題解決的な学習を積極的に取り入れた協働的な学びの充実 3 I C Tを効果的に活用した個別最適な学びや学校間交流の充実 4 社会奉仕体験活動や自然体験活動の充実 III 子ども・保護者・地域・教職員が当事者となる「みんなの学校」づくり 1 子どもにとっては楽しい学校づくり、保護者にとっては信頼できる学校づくり、地域の人にとっては大切にしたい学校づくり、教職員にとっては働きがいのある学校づくりの推進 2 対話を大切にした風通しのよい学校づくり 3 家庭を中心とした基本的生活習慣の育成 4 ホームページや学校通信等による情報の発信 5 教職員のO J T研修による学び合いの向上
管理運営	【人的管理】 1 教育公務員として、綱紀の保持に努め、全力で職務を遂行する精神を培う。 2 地域学校協働本部や部活動指導員等との連携による働き方改革を進め、教育の質の向上に努める。 【物的管理】 1 危機管理マニュアルの見直し・活用を通して、自然災害や火災等の実践的な研修や避難訓練に努め、危機管理体制の整備を図る。 2 個別最適な学びと協働的な学びを充実させるために I C T機器等の環境整備を図る。 【事務管理】 1 伊方町共同学校事務室との連携を密にし、適切な事務処理や厳正な管理に努める。 2 個人情報取り扱いに留意し、校務支援システムやホームページの積極的な活用を図る。
本校教育の特色	1 子どもを真ん中にした地域学校協働活動本部等との連携による地域とともにある学校づくりを進めている。 2 町内には小規模校が多いため、他校と自然体験活動や修学旅行等の学校行事で交流したり、I C T機器を利用し、授業で対話的な学びの充実を図ったりしている。 3 地域に一つの保育所、小学校、中学校、高校であるため、切れ目のない様々な連携を図っている。特に6年前より合同で行っている津波避難訓練の充実を図っている。 4 2011年の東日本大震災をきっかけに、宮城県気仙沼市立大谷中学校との交流を続けている。同じ海辺の町としての良さや課題を共有したり、交流を行ったりしている。今年度は、特に愛媛県の「学校防災教育実践モデル地域研究事業」に指定されており、防災教育における連携を図る。